

自然ふれあいウォーク 秦野くずはの家を歩いてきました。

4月13日（木）9：30～14：00 曇り時々晴 17℃

「神奈川のナショナルトラスト第一号」に認定されている秦野市立くずはの家は市内中央部を流れる葛葉川峡谷周辺に広がり野鳥観察、面白い所では川床の砂の観察など自然活動の拠点となっている所です。4月の園内は明るく春の輝きに満ち溢れていました。

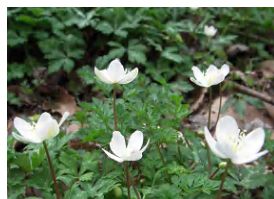


葛葉川を渡りホタルの里へ

- 1 くずはの家高橋所長より蛇行した葛葉川の成り立ちや露出した断層面の歴史などについて説明を受けました。
- 2 スジグロシロチョウ、キタキチョウが飛び交う河原のショカツサイ、カラシナ、ハマダイコンの紫や黄の花を見下ろしながら、くずはの吊り橋を渡りニリンソウ、セントウソウ、ツルカノコソウなど小さな白い花を観察しました。
- 3 東側奥のうぐいすの道、けやきの道ではタニギキョウ、マルバコンロンソウ、ユリワサビなど、やはり白い花を観察しました。
- 4 西側のとんぼのせせらぎ、ホタルの里（ゲンジボタル）周辺ではヤマネコノメソウ、タネツケバナを観察しました。



ホタルの里で観察中



ニリンソウ



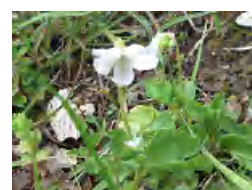
タニギキョウ



マルバコンロンソウ



タチツボスミレ



タチツボスミレ（白）



ヒメスミレ

- 5 オオムラサキ（国蝶）の観察用囲いの中では幼虫の食草であるエノキの新芽が出始めていました。幼虫の観察はできませんでしたがさなぎになった後の羽化は7月だそうです。
- 6 園内いたるところで外来種のセリバヒエンソウをたくさん見ました。

参加者の声

- 1、今年は桜の開花が遅かったので桜の花とともに春の山野草も観察ができて楽しかったです。
- 2、所長の葛葉川峡谷の成り立ちの説明が分かり易く良く理解できました。
- 3、伊勢原から近いので次は車でまた来ようと思いました。

参加人数 10名 GI：14名 合計24名